

CASBEE® 広島

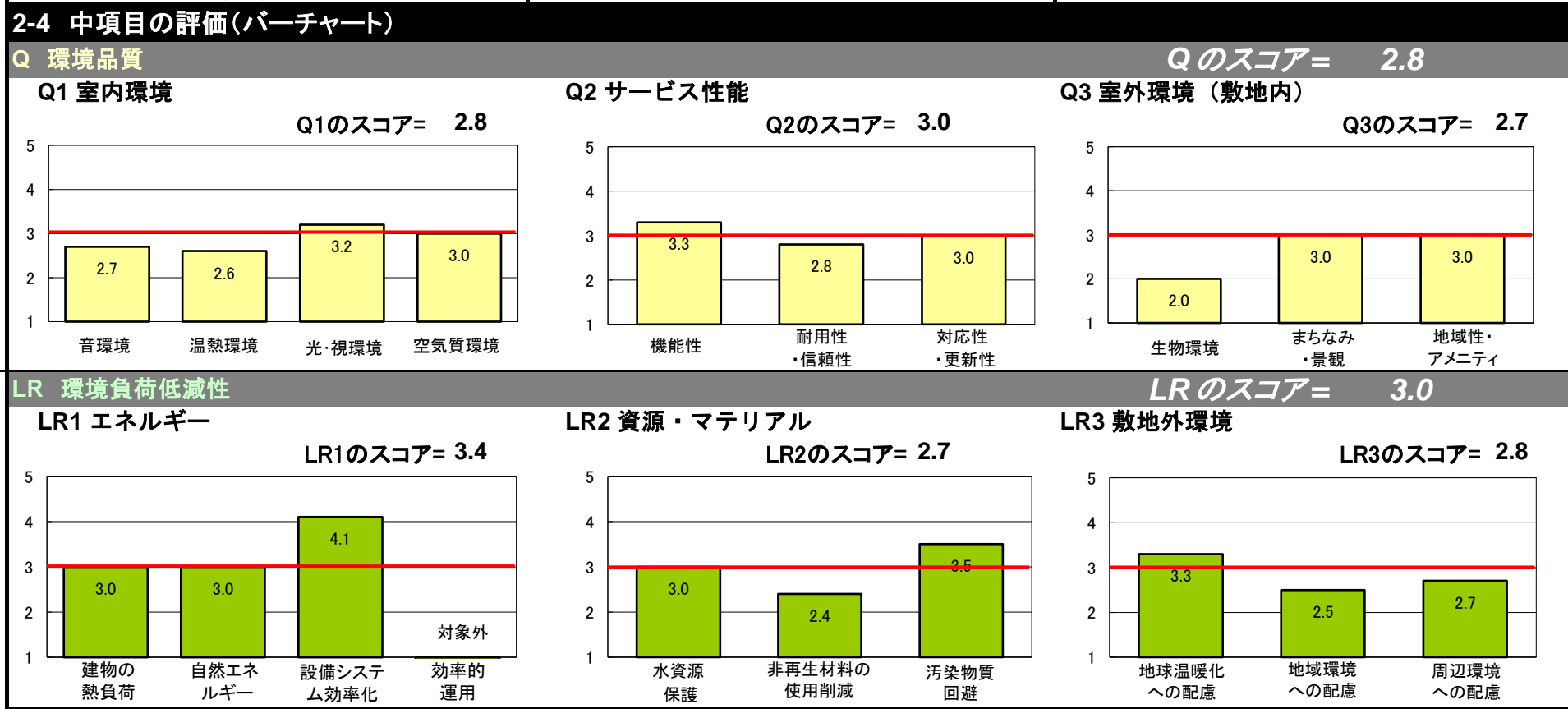
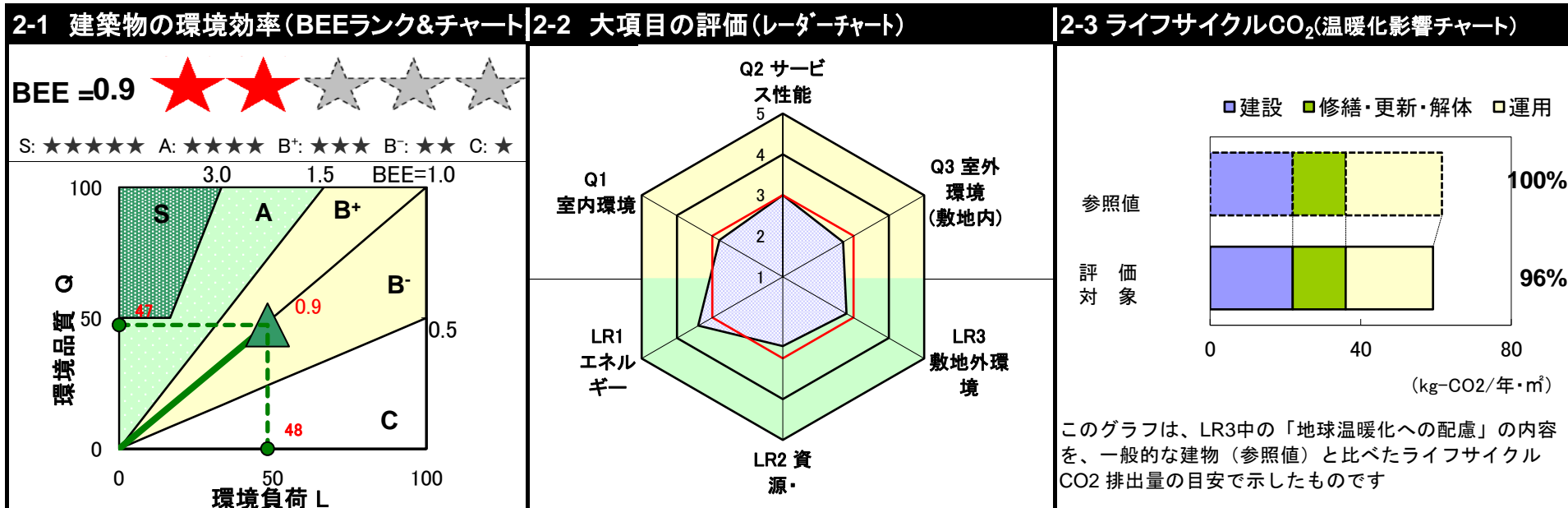
(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)クラス八丁堀	階数	地上19F
建設地	広島市中区八丁堀4-14、4-15	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火	平均居住人員	234 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015/6/末 予定	評価の実施日	2013年6月25日
敷地面積	957 m ²	作成者	山田昌弘
建築面積	530 m ²	確認日	2012年6月28日
延床面積	7,797 m ²	確認者	河上一平



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 2.9

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.1	スコア = 2.3	スコア = 2.9
設計の計画上特段に配慮した事項 //ガス給湯器の採用 // //ライフサイクルCO ₂ 排出率が一般的な建物と同等	設計の計画上特段に配慮した事項 敷地内での緑化に努め、敷地内空間を設置 / 住戸数の1.3倍の駐車台数確保、接道形態を利用した出入口の確保	設計の計画上特段に配慮した事項 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される